

各 位

東京都渋谷区桜丘町20番1号
株式会社アミューズ
代表取締役社長 畠中 達郎
東証第1部(コード番号:4301)



7/19~9/15 於 シダックス・カルチャービレッジ

アミューズ所属アーティスト 森雪之丞が総合プロデュース

アートプロジェクト「アートの壁」第3弾の展覧会

『池田修三と詩人たち』が開催中!

~8/9には、森雪之丞出演のトークイベント『池田修三のキセキ』を開催します~



池田修三作品『ピース』(1989年作)



弊社所属アーティストで、作詞家・詩人の森雪之丞が総合プロデュースする、シダックス・カルチャービレッジ「アートの壁」プロジェクト第3弾の展覧会『池田修三と詩人たち』が、7月19日(土)から開催中です。

「アートの壁」とは、渋谷の新たな情報発信基地、シダックス・カルチャービレッジ(「CULTURE WORKS」)の壁面を使って、個性豊かなアーティストが作品を発表していくアートプロジェクトで、第1弾、ビジュアルアーティストのミック・イタヤ氏、第2弾、書家の柿沼康二氏に続き、第3弾として、昨年発売された作品集が話題の木版画家、池田修三氏(2004年没)の作品とのコラボレーションが決定し、7月10日(木)~9月15日(月・祝)まで、作品『ピース』が展示されます。

今回の展覧会では、池田修三氏の作品が注目されるようになったきっかけである、池田修三氏の故郷、秋田県発行のフリーマガジン『のんびり』(プロフィール参照)で毎号展開されている、池田修三氏の作品に詩人たちが詩をつけるという『詩修』という連載を、実際の池田修三氏の木版原画とともに展示しています。

『詩修』には、総合プロデュースの森雪之丞のほか、谷川俊太郎氏、倉本美津留氏など、錚々たるみなさんが詩を寄せられており、さらに今回は、本展のために作家の江國香織さんも参加していただけることになりました。ぜひ会場で原画と詩の魅力に触れて頂ければと思います。

更に、8月9日(土)には、森雪之丞進行のもと、池田修三氏の作品が地元秋田の人々の暮らしにどのように息づいているのかをテーマに、トークイベントを開催いたします。

アミューズでは、この「アートの壁」というプロジェクトで、アートという分野のエンターテインメント性を引き出し、より多くの人にアートが生み出す創造性、価値観、楽しさ、驚き、発見を届け、共有していく事を、アーティストと共に目指していきたいと考えています。

【**展覧会情報**】★**アートの壁プロジェクト第3弾・展覧会**

『池田修三と詩人たち』 谷川俊太郎 一青窈 服部みれい 森雪之丞 倉本美津留 江國香織

日程: 2014年7月19日(土)～9月15日(月・祝) 10:00～20:00

会場: シダックス・カルチャービレッジ1F 渋谷シダックスギャラリー(東京都渋谷区神南 1-12-10)

入場料: 無料

詳細: <http://www.shuzoikedada.jp/>【**トークイベント情報**】★**アートの壁第3弾「ピース」トークイベント 『池田修三のキセキ』**

日程: 2014年8月9日(土) 17:00～18:00

会場: シダックス・カルチャービレッジ1F 渋谷シダックスギャラリー(東京都渋谷区神南 1-12-10)

入場料: 無料

出演: 齋藤一樹(にかほ市象潟町郷土資料館学芸員)

藤本智士(池田修三 木版画集「センチメンタルの青い旗」編集者)

森雪之丞(本展総合プロデューサー)

問い合わせ先: シダックス カルチャーワークス 03-3770-1425 <http://www.shidax.co.jp/>

※イベント内容は急遽変更になる場合がございますのでご了承下さい。

【**池田修三プロフィール**】

1922年(大正11年)、秋田県にかほ市象潟町生まれ。木版画家。

1977年(昭和52年)日本版画協会を退会しフリーに。1980年代に秋田相互銀行(秋田あけぼの銀行)のカレンダーや通帳、NTTや日本生命などの企業カレンダー、テレホンカードなどに作品が採用され、広くその名を知られるようになりました。

2004年(平成16年)に82歳で死去するまで、情緒あふれる子どもたちの情景やロマンあふれる作品を創り続けた池田修三氏。

彼の故郷、秋田県にかほ市象潟町においては、結婚、新築、出産などさまざまな祝い事において、修三作品を贈り合うという文化が育まれて

いました。そんな「暮しのなかのアート」をリアルに体現してきた池田修三氏ですが、生前、その作品や人となりについて大きく取りあげられることはありませんでした。しかし、2012年、秋田県発全国配布のフリーマガジン『のんびり』で特集が組まれたのをきっかけに彼とその作品に注目が集まり、2013年4月に秋田で開催された展覧会には県内外から10日間で2500名、今年はさらに4127名が来場するなど、大きな話題を呼んでいます。2013年夏には、初の作品集『センチメンタルの青い旗』(ナナロク社)が出版されるや、全国で展覧会が巡回されています。

【**森雪之丞プロフィール**】公式サイト <http://www.mori-yukinojo.com/>

1954年1月14日生。東京都出身。作詞家、詩人。

大学在学中からオリジナル曲のライブを始め、同時にプログレッシブ・ロックバンド『四人囃子』のゲスト・シンガーとしても活躍。

1976年に作詞&作曲家としてデビュー。以来、ポップスやアニメソングで数々のヒット・チューンを生み出したが、90年代以降、布袋寅泰、hide、氷室京介など多くのロック・アーティストからの支持に応え、尖鋭的な歌詞の世界を築き上げる。

これまでにリリースされた楽曲は2300曲を超え、06年には作詞家30周年を記念しポルノグラフィティ、斉藤和義、大黒摩季などが参加したトリビュート・アルバム『Words of 雪之丞』が制作された。

また詩人として、94年より実験的なポエトリー・リーディング・ライブ『眠れぬ森の雪之丞』を主催。03年には詩とパフォーマンスを融合した『POEMIX』を岸谷五朗と、11年には朗読会『扉のかたちをした闇』を江國香織と立ち上げる。現在、小学館『月刊本の窓』にて江國香織×森雪之丞『扉のかたちをした闇』で書下ろし詩の連載中。

独創的な行動と美学は多くの世代にファンを持つ。

近年は舞台・ミュージカルの世界でも活躍。劇団☆新感線の『五右衛門ロック』シリーズの作詞を始め、『CHICAGO』『THE WIZ』などブロードウェイ・ミュージカルの訳詞も手掛ける他、12年には初戯曲となるロック☆オペラ「サイケデリック・ペイン」を雪之丞一座～参上公演として上演。13年には戯曲第2弾となるオリジナル・ミュージカル「SONG WRITERS」を上演。14年前半には「シャーロック・ホームズ」「アダムス・ファミリー」(訳詞)、いのうえ歌舞伎「蒼の乱」(作詞)と話題作が続いて上演された。

2013年よりシダックス CULTURE WORKS の総合プロデューサーに就任し、「アートの壁」プロジェクトにて様々なアーティストとコラボレーションを展開中。



※文中敬称略

株式会社アミューズ グループ経営企画部 広報・IR 室

<<<この件に関するマスコミの皆様からのお問い合わせ先>>> TEL:03-5457-3358

<<<この件に関する投資家・株主の皆様からのお問い合わせ先>>> TEL:03-5457-3390(土・日・祝祭日を除く午前11時より午後5時まで)